

あなたの声を議会に...



No.141

(年4回発行予定)

令和6年11月16日発行

市議会だより



水之上的田園風景

目次

【令和6年第3回定例会】.....	2
常任委員会審査結果.....	3～
一般質問.....	5～
議案等の審議結果.....	12～
令和6年第4回定例会日程案	
編集後記.....	16

発行／垂水市議会
 編集／垂水市議会だより編集委員会
 鹿児島県垂水市上町114番地
 TEL 0994-32-1111（内線358）
 メールアドレス
t_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



垂水市議会
ホームページの入り口

令和6年
第3回定例会

一般会計補正予算 (第4号) (案) 可決

一般会計予算総額 130億3,297万円

第3回定例会は、9月6日から9月30日まで25日間の会期で開かれ、25件の議案や陳情等が審議されました。

定例会では、ペーパーレス会議システム導入に係る経費、垂水市営火葬場管理業務委託、道路維持改良工事などに係る一般会計補正予算(第4号) 2億4,832万8千円の増額が全会一致で可決されました。人事案件である固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会教育委員の任命、人権擁護委員の推薦(再任)については、それぞれ全会一致で同意・適任と認められました。

また、追加上程された令和6年度の教師用指導書等の購入契約において議会の追認を求めようとする議案第67号「財産の取得の追認について」が全会一致で可決されたほか、継続審査となっていた陳情第4号「令和6年能登半島地震の住宅被害を教訓とし耐震診断及び耐震改修の促進を求める陳情」は賛成多数で趣旨採択されました。

※審議結果は12・13ページに掲載

一般質問では12名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

※各議員の一般質問は5ページから掲載

～令和6年度一般会計補正予算(第4号)の主な事業～

道路維持改良工事

4,050万円

市道船渡瀬線や尾中野線など9路線の舗装工事や改修工事に要する費用

垂水市営火葬場管理業務委託

282万6千円

令和7年度から火葬業務の民間への業務委託を予定しており、その引継ぎ期間に係る火葬場運営管理費用

一般会計補正予算(第4号) 2億4,832万8千円

ペーパーレス会議システム導入費用

292万9千円

ペーパーレス会議システムの運用に係るライセンス料及びサーバー使用料並びに初期設定費用

会議室等 Wi-Fi 環境構築業務委託

345万4千円

ペーパーレス会議システムを運用するためのLANケーブルの配線、無線アクセスポイントの設置費用

産業厚生委員会

9月20日及び9月27日に産業厚生委員会が開催され、9月6日及び9月18日の本会議において付託された議案や陳情について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

令和6年垂水市一般会計補正予算(第4号)案

付託内容

委員会所管の事項で保育所等給食支援事業、延長保育事業補助金について、火葬場管理業務委託、降灰地域野菜安定対策事業について、道の駅維持管理費の修繕料、環境整備班ホイールローダー購入などを審査。

主な質疑

問 タイヤシヨベルは220万円ほどかけて修繕すればもつのではないか。(購入費1218万8千円)

答 昨年も燃料ポンプを修繕し、100万円以上かかっている。全国的にも同様な故障が多いとの報告を受けており、エンジンが外国製のため、今後の修繕料が高額になると見込まれることから、日本製のタイヤシヨ

ベルに買い替えるもの。

垂水市火葬場条例の一部を改正する条例案

付託内容

市外に住所を有する者の使用料を3万円から4万円に改正するもの。

主な質疑

問 市外の大人料金の値上げ理由について何う。

答 近隣市と比較したところ、市外の大人料金だけが低額であったため見直すもの。

垂水市給水条例の一部を改正する条例案

付託内容

水道料金を令和7年4月より改定

するもの。

主な質疑

問 廃屋や墓地の給水状況や漏水の確認について何う。

答 長年使用されていない家屋のメーターを取り外すこともある。メーターのない墓地などに新たにメータを設置し、回転で漏水していないかの確認も行っている。



垂水市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

付託内容

児童扶養手当法施行令の一部改正により、児童扶養手当の所得制限額の引き上げ等に伴い、条文に項ずれが生じたため、同施行令を引用している条例の一部を改めようとするもの。

主な質疑

問 政令改正による所得制限はどれぐらいあがっているのか。

答 子どもが一人の際は160万円から190万円へ、一部所得がある方は360万円から385万円に引き上げられる。

令和6年能登半島地震の住宅被害を教訓とし耐震診断及び耐震改修の促進を求める陳情

陳情内容

耐震診断で耐震改修が必要となった住宅の改修費助成の増額や、一定期間に固定資産税の減額を求めるもの。

意見

- 日向灘を震源とする地震があった。
- 改正基準改定前の建物も多い状態なので採択すべき。
- 要した費用を行政が全額補助するのは難しいのではないか。

【審査結果】趣旨採択



総務文教委員会

9月24日に総務文教委員会が開催され、9月6日・9月18日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

垂水市国民健康保険条例の一部を改正する条例 案

付託内容

令和6年12月2日以降、被保険者証が廃止されることになり、垂水市国民健康保険条例第12条で規定されている、被保険者証の返還を求められて応じない場合の罰則について削除しようとするもの。

主な質疑

問 被保険者証の返還を求められても応じない場合の10万円の罰則を削除するということが、削除した場合の対応は。

答 被保険者証の返還を求められて応じない場合の罰則であり、被保険者証を発行しなくなるから返還も発生しないため削除するもので、その後の対応は特にない。

消防・救急デジタル無線設備強化事業業務委託契約について

付託内容

契約金額は4億9280万円うち消費税4480万円で、通信機器のサーバー、ソフトウェア、端末機（パソコン）等の更新、基地局への共通波及び統制波の追加、送信出力の増強、「車両運用管理装置」と「ネットワーク」を導入しようとするもの。

主な質疑

問 機能が新しくなったところをいくつか具体的に伺う。

答 車両運用管理装置は外勤中の車にも出勤指令を受信できることから直ちに現場に向かえる。また、ネットワーク119は聴覚言語機能障害者が使用する装置でスマートフォンに登録してもらい、場所などの特定に役立つもの。

令和6年度垂水市一般会計補正予算（第4号）案

付託内容

委員会所管の事項で、ペーパーレス会議システム導入、児童手当拡充に伴う人事給与システム改修負担金、防災備蓄品のポータブルトイレ購入、地域公共交通活性化協議会負担金増額、小中学校ネットワークアクセスメント業務委託費用などを審査。

主な質疑

問 垂水小、垂水中央中がネットワーク整備の基準を満たしていないとのことだが、詳しく説明を伺う。

答 両校とも児童、生徒数が多くタブレット端末を一齐に使うと処理速度が遅くなるなど、国が示した通信速度の要件を満たしていない。そのため、来年度計画されているギガ端末更新の補助金交付要件として、その課題と解決策の調査をして更新時までには計画を作る必要があるということ。



財産の取得の追認について

付託内容

小学校教師用指導書（デジタル教科書を含む）の購入費用が2000万円以上となった。2000万円以上の動産については議会の議決が必要であることが判明したため追認を求めるもの。

主な質疑

問 単純ミスなのか。どこからか注意されて気づいたのか。

答 他の市町村からの問い合わせで分かったもの。これまで消耗品費で購入していたため、動産という認識がなかったことが原因であり、大きな反省点である。



令和6年 第3回定例会

一般質問

12 議員が登場！

市政を問う



第3回定例会において、12名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しています。詳細な内容については、市役所3階情報公開室や図書館等にありますが“会議録”をご覧ください。会議録は市役所ホームページからもご覧いただけます。

12番	11番	10番	9番	8番	7番	令和6年9月19日	6番	5番	4番	3番	2番	1番	【質問者】 ※質問順 令和6年9月18日
感王寺 耕造 議員	北方 貞明 議員	高橋 理枝子 議員	川畑 三郎 議員	篠原 静則 議員	池山 節夫 議員		新原 勇 議員	梅木 勇 議員	池田 みずず 議員	宮迫 隆憲 議員	前田 隆 議員	川越 信男 議員	
P11	P10	P10	P9	P9	P8		P8	P7	P7	P6	P6	P5	



川越 信男 議員



8月8日発生の日向灘を震源とする地震の被害状況は

問 市道元垂水原田線において片側通行規制が発生しているようであり、この現場は令和3年度から地滑りの観測機器が設置されていると思うが、今回の地震の影響により何らかの異常が確認されたことから通行規制がかけられることになったのか、これからの件について伺う。

答 今回の地震による揺れで道路のり面の動きが観測され、揺れによる一時的な動きとも考えられたが、この揺れによる地滑り災害のおそれもあったことから、早急に信号を設置し、1週間、片側通行の規制を行ったところである。結果としては、道路のり面の変状が確認されなかったことや伸縮計による動きもその後観測されなかったことから規制は解除したところであるが、現在も道路のり面の変状や動きを観測しており、引き続き、安全面には十分注意しながら状況の把握に努めているところである。

GIGAスクール構想の推進を

問 第1期では児童・生徒も教師もICT機器を活用するよさを実感しているということは、本市では現段階でも十分質の高い公教育が実現できていると判断できる。来年度は、第2期でもさらに継続・発展していくため、端末の更新作業にあたる年であり、大変重要であると考えられるが、学校教育課として今後どのように取り組んでいこうと考えているか伺う。

答 GIGAスクール構想第1期は、現行のタブレット端末や使用しているOS等のライセンス契約が令和7年度で終了し、令和8年度からセカンドGIGAに突入する。端末やアプリ等の整備と同時に、教員の研修も充実していくことが重要であると考えている。「GIGAスクールのまち垂水」の子供たちにどのようなICT端末や機能が必要であるのか、次の5年間でどのような学びの姿を期待するものか検討し、計画的に進めてまいりたいと考えている。



【その他の質問】

○たるみず特産品販路拡大支援事業
○旧牛根中学校利活用等に関する説明会



前田 隆 議員



介護保険料は値下げになったが給付費準備基金はどうなっているか

問 介護給付費準備基金は給付費に不足が生じた場合や保険料増の負担軽減に活用する目的のものとして、今期給付費に不足が生じた場合、足りるのか。また、その積立基準はあるのか。余剰金が発生した場合、来期はさらに積み立てるのか、保険料抑制に全額充当するのか伺う。

答 今期介護保険事業計画では、新規事業や事業拡大の計画がないことから給付費の急激な増加は考えにくく、不足することはないと考える。積立額の基準については、国から余剰金を保険料上昇抑制に積極的に充てるよう促されているものの、積立額の適正な水準は示されていない。また、来期については、計画通りに基金を取り崩し、令和7・8年度に余剰金が発生せず、積立ができた場合でも1億2200万円程度は次期介護保険料抑制に使用できる見込みである。介護給付費準備基金をどの程度充当するかは総合的に

判断し、介護保険運営協議会の意見を聞いて決定していく。

少子化対策は婚活支援から

問 本市の婚活支援取組として商工会青年部が主催する「出会っちゃんなたるみず」が婚活イベントとしてあるが開催結果と傾向、意義について伺う。また、マッチングアプリによるA婚活への見解と今後の市の支援についても伺う。

答 婚活イベントは平成23年から実施し、115組のカップルが成立し、結婚・出産に至ったカップルも誕生し貢献度の高いイベントである。参加者に出会いの場を提供するだけでなく、観光名所を訪れ、本市のPRを兼ねたものになっている。地域活性化と出会いの場の創出、定住人口増加に意義があると認識している。鹿児島県が少子化対策の一環として支援している「かごしま出会いサポートセンター」はビッグデータを活用したA婚活を出会いの有効な手段の一つと考えており、広報周知と連携強化を行い、結婚支援コンシェルジュと情報交換し、結婚を望まれる方への支援策を検討していきたい。

【その他の質問】

- 今後の水道事業
○本城川に架かる橋



宮迫 隆憲 議員



垂水高校100周年に向けて

問 記念すべき節目であるが、これを機に給食提供はできないか伺う。

答 子育て世代への負担軽減策と併せ、新たな生徒増加の施策として可能性を秘めていると考えており、本市としても学校給食センターを利用した垂水高校の給食の提供実現に向け、垂水高校が主となり垂水高校振興対策協議会がサポートしながら現在、検討を始めている。事前の調査として、全国で実施している全日制の公立高校に先進地視察を行うための予算を今議会に補正予算として上程させていただいており、併せて垂水高校も学校予算で職員を派遣していただくこととしている。創立100周年という大きな節目に向けて、関係機関と協議を行いながら実現を目指して、努力してまいりたい。

観光振興で江ノ島の活用を

問 江ノ島は垂水市の所有地であり、今後観光ツールとして活用できないのか伺う。

答 江ノ島は、昭和50年代まで島内

にコテージやテントサイトが整備され、利用者は瀬渡し船で上陸していたようである。江ノ島の観光素材としての魅力は桜島と錦江湾が織りなす美しい景観や江ノ島から臨む360度の眺望、無人島に上陸するという冒険心をくすぐることや、非日常を味わえ、陸地から近い安心感もある点と認識している。今後は、類似観光地と考えられる神奈川県江ノ島や宮崎市の青島などの観光施策について調査研究を進めるとともに、どのような観光推進の在り方が有益であるのか、協和地区公民館や地元住民の皆さんのご意見を伺い、併せて観光関係機関等の専門的な知見も伺ってまいりたいと考えている。



【その他の質問】

- 果樹試験場跡地の現状
○垂水中央運動公園の駐車場問題
○本市の防災体制は



池田 みすず 議員



快適に過ごせる避難所運営と
備蓄品等の管理を

問 台風10号における避難所運営について、避難された市民の方から「女性専用フロアがあると安心して過ごせる」等、様々な要望あったが、今回の避難所運営の体制をどう評価しているか。また、備蓄品等について現在不足している備品等はあるか。

答 停電に伴う断水が想定された避難所では、地元の自主防災組織が避難所開設の前から、生活用水の確保等対策を行っており、市役所職員と連携しながら避難所の運営に協力していただいた。今回の台風に限らず、避難所で多数の避難者が過ごされ、職員が避難所で全ての対応を担うことは難しいと考えられるため、自主防災組織をはじめとする地元住民の方々と避難者同士の協力をいただき、避難所を運営することも必要だと考える。備蓄品等については、内閣府が示す備蓄チェックシートも参考にしながら、平時から維持管理に努めている。また、本年1月の能登半島地震の被災者のトイレが大きな問題

となったことを受け、ポータブルトイレやテントの購入経費を新たに補正予算に計上した。物資の内容や数量については十分ではないことから、避難される場合は、世帯分の必要な物資を持参いただくことが必要であると考ええる。

より多くの市民が活用できる
ようつたるおでかけチケット
のを見直しを

問 たるたるおでかけチケットに関するアンケート調査結果を受け、その要望に対する検討の進捗状況と今後の見直しを伺う。

答 たるたるおでかけチケットは、高齢者の方の積極的な社会参加と健康保持、福祉の増進を主な目的とし、移動支援も担っている部分もあり、現在交通施策と一体的に協議を行っている。令和4・5年度に実施したアンケートの要望にあったフェリー利用について、鴨池・垂水フェリー事業所に問い合わせ、協議の場を設け、事務処理方法を説明したうえで、来年度より利用できないか協議を行う予定である。広報紙等あらゆる機会を通じ、利用促進に取り組む。

【その他の質問】

- 熱中症対策
- 病児・病後児保育
- 文化財専門員



梅木 勇 議員



牛根地区グラウンドゴルフ場
整備は地域の声を反映して

問 旧牛根中学校跡地が売却され、同跡地で進められてきたグラウンドゴルフ場整備が宙に浮いたこととなり、代替地について8月23日の説明会で、牛根小学校・境小学校・浮津港公園が考えられるとの説明に対して、それ以外の場所の検討の意見もあったと聞いているが、地域振興計画の見直しの協議の中に、グラウンドゴルフ関係者も交えた専門部会を設置して検討できないか伺う。

答 専門部会を設置し、検討を行うことは大変有効であると思われる。地域振興計画策定推進委員会の中に組織を設置して、場所や整備の方法等、地域の皆様からの要望を広く伺いながら検討するよう努めたい。

**ジオパークの再認定と
商品にロゴマークの使用を**

問 桜島・錦江湾ジオパークは本市・鹿児島市・始良市がエリアで、認定期間は4年となっている。来年2月に認定期限となるが、再認定に向けての取組と、文化サイトに認定されている特産のキヌサヤエンドウ・サ

ヤインゲン等の販売に付加価値を高め、有利な販売につなぐため、ロゴマークの使用はできないか伺う。

答 ジオパークの目的であるジオの魅力・特性を生かした観光・交流の推進、郷土への愛着や誇りの醸成を図る活動を推進することはもとより、3市で連携しイベント等の実施に取り組んでいきたい。商品パッケージへのロゴマーク等の使用については、現時点において商品の認定制度がないことから使用は難しい。ジオパークのPR及び商品の付加価値向上に効果的な手段であると考え、検討していく。



キヌサヤエンドウに関する
顕彰碑の管理は

問 本市にキヌサヤエンドウの栽培を奨励し、一大産地を築かれた末田浅一翁の功績をたたえる顕彰碑が、鶴田組ガソリンスタンド北側、本城川橋たもと一角に建立されているが、周囲の除草等適切な管理がなされず、顕彰碑が見えづらい状況であり、どこが管理しているか伺う。

答 昭和46年に末田浅一翁の功績を後世に伝えるために設置され、敷地は土地所有者の善意により、本市に寄付採納されている。管理については農林課が主体で、今後、市民の認知度を高めるため、看板の設置や草木等繁茂しないよう検討したい。



新原 勇 議員



学校給食無料化の

1年を振り返って

問 私自身、給食無料化を訴えていたものが市長の公約として実現し、1年経過したが、保護者からの反響と物価高騰の中、今回40円の値上げで給食提供は大丈夫か伺う。

答 事業の趣旨である子育て世代の経済的負担軽減について97・2%の保護者が負担軽減につながっているとの回答。また、無料化された給食費相当分を食費に36・1%、子供の習い事等に14%、子供のための費用に41・8%と回答し、子育てや教育のために有効活用していると考ええる。過去2年のひと月あたりの給食費は、令和4年の小学校が237円、中学校が287円。令和5年は27円値上げし、小学校が260円、中学校が315円。今回の値上げは、学校給食摂取基準により作成された標準食品構成表に基づく基準額を参考に、今般の異常気象による生育不良に伴う食材の高騰を見込んで算出。年間の給食費負担金は4612万6千円の予定。

火葬場の民間委託の決断は

問 令和2年第2回定例会で民間委託について質問したが、あれから4年あまりで決断した経緯を伺う。

答 火葬場は現在、会計年度任用職員3名が従事しており、年齢がそれぞれ68歳、69歳、72歳と高い年齢構成となっており、ここ数年、職員募集を行ってきたが新規の申込みはなく、この3名の方に長年従事していただいている状況が続いている。他自治体の火葬場の状況は、広域組合を含めた外部委託が大半を占めている。火葬業務は特殊な業務であるため、庁内で検討・協議した結果、民間委託により中長期の安定した運営管理ができるものと判断した。

特定技能2号実習生の受入体制は

問 日本国内の労働力不足を補うため、人手不足が深刻な16の分野において外国人の就労を認め、試験を受けて特定技能2号を取得すると就労制限なしとなり、家族と一緒に生活できるが、垂水市の受入体制を伺う。

答 令和5年6月9日の閣議決定により、特定技能の在留資格に係る制度の変更が行われ、今後は家族を含めた外国人や、外国人を雇用する事業者も増加することが想定され、受け皿としての住居の問題、帯同する家族の社会的受入れや教育など所管課において情報収集を行い、様々なケースに対応できるよう調査・研究に努める。



池山 節夫 議員



障害者スポーツの普及を

問 パリパラリンピックを機に、共生社会や多様性尊重の実現に向けた対応は進みつつあるようだが、障害者スポーツの魅力発信や健常者も含めて幅広く親しめる環境の整備が急務と言える。指導員やボランティアなどの人材の確保、車椅子のまま競技できる体育館などの施設整備について伺う。

答 今後、本市において大会開催など指導員が必要となった場合には、鹿児島県身体障害者福祉協会が取り組んでいる日本パラスポーツ協会公認の初級パラスポーツ指導資格が取得できる講習会を活用して、必要な指導者の養成ができればと考えている。体育館は令和元年に国体に向けて整備を行ったところであり、正面玄関入り口右側にスロープを設置し、体育館内1階部分は入り口の段差解消のスロープを含め全てをバリアフリーとしたところであり、併せて多目的トイレをリニューアルするなど、誰もが安心して利用できるような環境整備に努めているところである。

マッチングアプリに補助金を

問 先日、ペアーズというマッチングアプリを利用する30歳以下の住民に対して補助金を出すという自治体のニュースを目にした。福岡県朝倉市では「縁結び課」を設置している。佐賀県武雄市では「お結び課」を設置して出会いの場をサポートしている。これらの取組について見解を伺う。

答 複数の自治体がアプリ運営会社と連携協定を締結したり、マッチングアプリの登録料や利用料の一部を助成したりするなど、若者の出会いの拡大を目指す取組を進めているようである。このような全国の先進事例もあることから、様々な視点から調査・検討をしていく必要があると考えている。

錦江湾横断道路建設促進の決起大会を来年1月桜島で開催予定

問 東桜島漁協において決起大会の実施について協議してきた。来年1月19日、南栄リース桜島アリーナでの開催を予定している。市長の見解を伺う。

答 大隅・鹿児島島の発展のために、しっかりと取り組んでいかなければならないと考え、そのために桜島で決起大会を開くということは大変意義があると考えている。

【その他の質問】
○マイナ保険証



篠原 静則 議員



振興会合併状況は

問 令和3年度から限界集落が15増え、限界集落解消の措置として、振興会合併補助金が制定されているが、合併に至った振興会は2つである。振興会合併について、どのような協議がなされているのか伺う。

答 令和4年12月に振興会長連絡協議会理事会で協議されている。振興会が抱える問題として、世帯数の減少・少子高齢化・役員の確保が挙げられるが、統廃合を行うことで様々な行事・奉仕作業等の参加者や役員等の確保がしやすくなり、組織強化や地域の課題に取り組みやすいといったメリットが期待できる。一方、デメリットは会員数の増加により、振興会の運営方針や活動内容の合意等が困難になる可能性や、地域内に多様な意見や課題が出る懸念される。まずは、振興会単位での十分な検討が重要であると考えている。

垂水島津家墓所災害復旧事業は

問 文化財の復旧作業には相当な時間と労働力が必要となるが、令和3年度から実施している復旧作業の内

容と今後の見通しは。

答 令和3年度は、測量調査・地質調査・実施設計などを実施し、復旧までの年次の計画の協議を行った。令和4年度は、墓所内の樹木の伐採・土砂の撤去作業を行い、埋没している墓石を掘り上げ、洗浄・乾燥・被害状況の記録などを行った。令和5年度は、損傷した墓石などの修復・強化作業を行い、本年度は墓石下の基壇石材の修復や裏山斜面の擁壁工事の確認調査を計画している。次年度以降は、擁壁工事や墓石の移動・設置を行うが、文化庁のヒアリング等計画的な作業が必要となり、今後複数年の期間を要すると考えている。

消えた公金

285万3560円はどのくらいか

問 鹿屋警察署の捜査は4〜5年となるが、いまだ事件の解明に至っていないため、本部の鹿児島県警に相談することはあるのか。

答 令和元年11月に鹿屋警察署に被害届を提出しており、改めて他の署に被害届を提出することは考えていない。現在のところ、事件の解明に至っていないと報告を受けており、引き続き捜査を行うと伺っている。市としては、捜査状況を見守っている。

【その他の質問】

○農政



川畑 三郎 議員



連続した猛暑日の影響は

問 35度以上の猛暑日が続いた垂水市の影響を伺う。

答 梅雨明け後は、高気圧が安定して張り出し、例年以上に厳しい猛暑となった。農業においては、9月から本格的な豆類の植付けが始まる。雨が降らないことによる冠水作業や植え直し作業など、追加的作業の発生も予想されることから、関係機関と連携した適切な対応に努める。水産業においては、近年の温暖化により海水温が上昇し、本市でも海洋環境及び漁場環境の変化により著しい影響が出ている。海水温が30度に達する状況が、ここ10年ほどで約10倍の年間40日から50日に増えていて、カンパチを中心に寄生虫、ハダ虫が発生し、海水温が高いことにより、魚への負担がかかるため、薬浴に時間が十分にかけれない状況から、ハダ虫を完全に駆除できず、へい死する問題も発生している。一方ブリにおいては、一時的であったが、摂食障害で魚体が痩せる状態が著しく現れ、へい死も一部見られた。

台風10号の被害状況は

問 台風10号が薩摩川内市に上陸した。今回の台風の被害状況を伺う。

答 家屋等の被害は9月10日現在、屋根瓦などの一部損壊が177件報告されている。土木・農林関係は思ったよりも風雨が弱まっていたため、倒木や落ち葉、枝などの除去が多かった。農道・林道・用排水路等の土砂や倒木の除去を緊急に復旧を行った。

さくら公園の空洞調査は

問 海潟さくら公園駐車場空洞調査が予定されているが、内容を伺う。

答 令和3年度に公園内駐車場において陥没事例が発生し、今年度も同様の事例が発生したことから、速やかに修繕を行い、徹底的な対策が必要であり、公園の地盤等状況を詳しく調査したい。



【その他の質問】

- 三角ため池廃止
- 消防活動
- サメ被害の状況



高橋 理枝子 議員



垂水市のハラスメント
防止条例制定について

問 全国でハラスメントについての問題が後を絶たない。本市にもいろいろなハラスメント問題がある。市民、市職員、議会を含めての市独自のハラスメント防止条例が必要と考えるが見解を伺う。

答 【市長答弁】 ハラスメント対応については社会情勢の変化や国の勧告などに迅速に対応する必要があり、今のところ現行どおり規程で運用していきたいと考えている。今後については、様々な状況の変化に対応して対処していく。

市職員及び会計年度任用職員
の休暇取得と職務の専念

問 真面目に、正直に職務に専念している職員がほとんどであるにもかかわらず、ほんの少数の信用を失墜させる行為は垂水市全体の信用を失う。本市でも勤務時間中に頻繁に自家用車を移動して帰る準備をするなどの事例がある。地方公務員法の職務専念義務違反に問われる可能性が

ある。今後、法令の遵守の徹底をどのように職員に伝えていくのか伺う。

答 離席の回数や時間の目安は示していないが、社会通念上の許容範囲であれば、一概に禁止していない。しかし、日常的に勤務時間内に自家用車を移動させてまで帰宅を準備しているとなれば、社会通念上で認められる範囲を超えており、職務専念義務違反に当たる可能性がある。全職員に対して勤務時間内は職務に専念する義務があることを再認識させ、より一層の服従規律の遵守を徹底する。

新型コロナウイルス
ワクチン接種について

問 10月1日から8回目の接種が始まる。今回から新しく世界で日本だけ承認されたワクチンが使われるが、国が決めたことにも疑いの目を持ち、調査研究して市民の健康を守る行動をするべきだと考えるが、本市のワクチンの安全性に対する見解を伺う。

答 供給されるワクチンは薬事承認されるのが前提と示されている。接種については、個人の判断であることは周知しているが、心配な方については、かかりつけ医に相談をして受けていただくことで安心感が得られるものと考えている。

【その他の質問】

- 地域おこし協力隊
- 清掃センター



北方 貞明 議員



災害対策の食料品・水・
簡易トイレは

問 避難所での避難者に対して現在食料品・水等は何食分準備されているのか。停電、断水が発生すれば、避難所トイレは使用不能となるが、その場合、トイレは何基準備されているのか。垂水中央病院での透析患者の治療には大量の水を使用するが、その対策を伺う。また、断水対策で各地区公民館単位に生活用水としてポリング掘削の考えはないか。

答 市の防災倉庫のほか、指定避難所の各地区公民館に一定数保管している。9月10日現在の備蓄数は、食料品は約6400食分、飲料水は500mlのペットボトル867本、2lのペットボトル342本備蓄している。数が少なくなれば即時補充し、数量確保に努めている。簡易トイレは現在、6基準備して断水時を想定した便袋の備蓄とともに市の防災倉庫に保管している。透析患者の水は絶対的に必要であり、透析液を作成するには原液状の薬剤をきれいな水で34

倍に薄めて使用するため、患者1人に対し、約240l使用する。垂水中央病院の貯水槽の容量は60トンで、高架水槽の容量24トンと合わせて84トンである。人工透析を含め、ほかの用途にも使用するので、1日当たり貯水量とほぼ同等の80トンの水を使用している。災害等で断水した場合、垂水中央病院の温泉水を排水等に利用する。また、断水が継続する場合は給水車の要請を行い、肝属保健医療圏の6つの透析医療機関と連携して対応する。井戸の件は、予算が絡むものであり、提案として参考としたいと考える。

学校の在り方は

問 少子高齢化が進み、人口減少が続く中、年々児童・生徒も減少し、本年度、垂水市全体で66名の新入学児童である。内訳は新城小1名、垂水小47名、水之上小7名、椋原小6名、協和小2名、牛根小2名、松ヶ崎小1名、境小0名である。令和11年度は、垂水市全体で45名の新入学児童の予定であり、今後の学校の在り方について伺う。

答 教育委員会主導でなく、学校運営協議会において保護者と地域住民との合意形成を図りつつ、会での意見や要望を踏まえ、進めていきたい。

【その他の質問】

- 特認校制度
- 不明金285万円





感王寺 耕造 議員



訪問介護事業所は市内に一箇所、垂水市社会福祉協議会への支援策は

問 全国で訪問介護事業所の倒産が相次いでいる。市内の事業所も垂水市社会福祉協議会一箇所となっている。利用希望者の依頼全てに対応できているのか。

答 訪問介護サービスを提供しているのは、垂水市社会福祉協議会のみで、椋原や新城の一部においては鹿屋市の事業者がサービス提供されている。また、訪問介護、通所介護、短期入所生活介護を組み合わせ提供している小規模多機能型居宅介護サービスが本市には4事業者あることから、垂水市社会福祉協議会とともに在宅で訪問介護サービスの提供を行っており、いろいろなサービスと組み合わせながら対応している。介護認定が非該当となる方からの掃除、買い物等の依頼についてはボランティアによる支援ができるよう、生活支援体制整備事業の中で、地域の課題を地域で解決できる取組として各地区公民館単位で第2層協議体を設置し、地域の中で互助、共助の活動ができるよう支援している。

問 社会福祉協議会には、運営補助金、福祉活動専門員設置補助金、また各種の委託業務を行っていることは承知しているが、営利を生む事業ではない。市内一箇所となった訪問介護事業を維持していくうえで社会福祉協議会へのさらなる支援が必要ではないか。

答 垂水市社会福祉協議会には、福祉活動専門員設置補助金、運営補助金、福祉ボランティアのまちづくり事業補助金、福祉のまち推進事業補助金など、合わせて938万7000円を支出している。また、事務レベルで月1回の情報共有の場を設け、意見交換を行うことや社会福祉協議会で行っている市内サロン運営に関して、一部、専門職を派遣し支援している。垂水市社会福祉協議会は大切な存在であることは認識しており、今後高齢化が進行していく中で、さらにその役割は大きくなると思われるので、他市町の社会福祉協議会の先進的な取組などを参考に、各種事業が継続して取り組めるよう協議していく。

【その他の質問】

- 職員の日替休・年次休暇の取扱い
- 職員確保対策
- 市庁舎の環境整備
- 避難所・病院・福祉施設
- 熱中症特別警戒アラート

賛否が分かれた議案について (○：賛成、×：反対)

氏名	議案番号・議案件名														審議結果	
	高橋理枝子	宮迫隆憲	前田隆	新原勇	池田みずず	梅木勇	堀内貴志	川越信男	篠原静則	感王寺耕造	持留良一	北方貞明	池山節夫	川畑三郎	○ 賛成	× 反対
陳情第4号 令和6年能登半島地震の住宅被害を教訓とし耐震診断及び耐震改修の促進を求める陳情	×	○	○	○	○	○	※議長のため表決には参加しない	○	○	欠	欠	○	○	○	10	1
																趣旨採択

令和6年第3回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
報 告 第8号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度垂水市一般会計補正予算(第3号))	台風10号による災害復旧費を執行するもの	承 認
議 案 第50号	令和5年度垂水市水道事業会計余剰金の処分及び決算の認定について	令和5年度垂水市水道事業会計の余剰金の処分や決算を審査するもの	原案可決及び認定
議 案 第51号	令和5年度垂水市病院事業会計決算の認定について	令和5年度垂水市病院事業会計の決算を審査するもの	認 定
議 案 第52号	垂水市国民健康保険条例の一部を改正する条例 案	令和6年12月2日以降、被保険者証が廃止されることに伴う罰則を削除しようとするもの	原案可決
議 案 第53号	垂水市火葬場条例の一部を改正する条例 案	令和7年4月1日から市外の方の火葬場使用料を4万円に増額しようとするもの	原案可決
議 案 第54号	垂水市給水条例の一部を改正する条例 案	令和7年4月から水道料金を平均16.2%引き上げようとするもの	原案可決
議 案 第55号	垂水市屋外運動場照明施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 案	旧牛根中学校跡地が売却されることに伴い、文言を削除しようとするもの	原案可決
議 案 第56号	垂水市固定資産評価審査委員会委員の選任について	保久上 光昭氏を固定資産評価審査委員会委員に選任するもの	同 意
議 案 第57号	垂水市教育委員会教育委員の任命について	明石 浩久氏を教育委員会教育委員に任命するもの	同 意
議 案 第58号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めることについて	沖 真理子氏の人権擁護委員推薦に当たり、議会の意見を求めるもの(再任)	適 任
議 案 第59号	鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	事務に係る規定を改めるため、鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約を変更するもの	原案可決
議 案 第60号	消防・救急デジタル無線設備強化事業業務委託の契約について	車両運用管理装置やNET119の導入等の機能強化を図ろうとし、議会の議決を求めるもの	原案可決
議 案 第61号	令和6年度垂水市一般会計補正予算(第4号)案	ペーパーレス会議システム導入に係る経費や垂水市営火葬場運営管理業務委託等の増額	原案可決
議 案 第62号	令和6年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)案	令和6年12月2日以降、被保険者証が廃止されることに伴い、資格確認書の台紙が必要となるなど、消耗品費の不足が見込まれるための増額	原案可決
議 案 第63号	令和6年度垂水市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)案	天井部の雨漏りに伴う防露材剥落防止、分電盤・熱感知器取替など市場施設の安全性を確保するための修繕料の増額	原案可決
議 案 第64号	令和6年度垂水市介護保険特別会計補正予算(第1号)案	令和5年度の決算に伴うものが主なもので、繰越金や、国・県等への返還金、一般会計への繰出金及び積立金等の補正	原案可決
議 案 第65号	令和6年度垂水市漁業集落排水処理施設事業会計補正予算(第1号)案	漁業集落排水処理施設の中継ポンプを緊急修繕をした費用等に係る増額	原案可決

令和6年第3回定例会に提案された件名と結果一覧

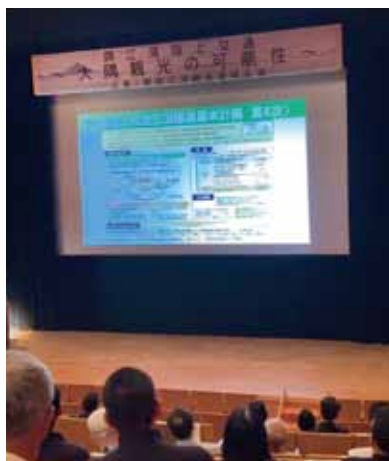
番号	件名	内容	審議結果
議案 第66号	垂水市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例 案	児童扶養手当法施行令の一部を改正する政令の一部改正に伴い、条文を整理するもの	原案可決
議案 第67号	財産の取得の追認について	令和6年度の教師用指導書等の購入契約において議会の追認を求めようとするもの	原案可決
議案 第68号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	公用車の接触事故による相手車両への破損に対し、修繕費を賠償し和解するもの	原案可決
陳情 第4号	令和6年能登半島地震の住宅被害を教訓とし耐震診断及び耐震改修の促進を求める陳情	令和6年能登半島地震や過去の大震災を教訓にして耐震診断及び耐震改修の促進を求める	趣旨採択
陳情 第9号	義務教育費国庫負担制度負担率の引上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保したうえで義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げを求めるもの	採 択
陳情 第10号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	教職員定数改善の推進や複式学級の解消などの実現に向けた政府予算編成を求めるもの	採 択
意見書案 第5号	義務教育費国庫負担制度負担率の引上げをはかるための2025年度政府予算に係る意見書 案	上記陳情第9号に係る意見書	原案可決
意見書案 第6号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2025年度政府予算に係る意見書 案	上記陳情第10号に係る意見書	原案可決

～ 議員の主な活動 ～ 【令和6年8月～令和6年10月】

- 8月1日（木） 公立学校施設整備期成会評議員会（鹿児島市）
- 8月1日（木） 市町村政研修会（鹿児島市）
- 8月7日（水） 国道整備促進における中央要望（東京都）
- 8月8日（木） THOUSAND GARDEN TARUMIZU プレオープンセレモニー（垂水市）
- 8月19日（月） 桜島火山活動対策議会協議会総会（鹿児島市）



8/7 国道整備促進における中央要望



9/29 環錦江湾観光連絡会議シンポジウム

- 9月1日（日） 垂水市社会福祉大会（垂水市）
- 9月29日（日） 環錦江湾観光連絡会議シンポジウム（鹿屋市）
- 10月8日（火） 小規模市議長会県要望（鹿児島市）
- 10月7日（月）～10月9日（水）
産業厚生委員会所管事項調査（福岡県・大分県）
- 10月16日（水）～10月18日（金）
鹿児島県市議会議長会政務調査（北海道）
- 10月23日（水）～10月25日（金）
総務文教委員会所管事項調査（千葉県・埼玉県）

八女市：福岡県南部に位置し、人口は5万9千人。岩戸山古墳をはじめ多くの古墳がある。
豊後高田市：大分県北東部に位置し、人口は2千1千人。六郷満山文化ゆかりの史跡などの地域資源が豊富。
佐伯市：大分県南東部に位置し、人口は6万4千人。農林水産業が盛ん。海岸部にはリアス式海岸が広がる。

**産業厚生委員会
所管事項調査報告**

1. 調査日 令和6年10月7日
〜10月9日
2. 調査地及び調査内容

福岡県八女市

【目的】
新規就農者支援について



八女市役所での研修状況

【調査の概要】

八女市では、これまでの新規就農支援の取組により毎年約10名が市内で就農している。今後の課題として、新規就農者のための優良農地や農業施設の確保と、中山間

地域や果樹類、土地利用型農業での担い手不足が挙げられた。

【まとめ】

担い手の確保と育成による産地の維持のためには、空き農地・施設の情報共有による新規就農者へのマッチング強化や第三者継承による経営開始時の負担軽減、農地基盤整備事業の活用による圃場整備や農業のDX化による省力化・効率化などを含めた多角的かつ継続的な支援が必要であると考える。

大分県豊後高田市

【目的】

移住・定住の取り組みについて



豊後高田市役所での研修状況

【調査の概要】

豊後高田市では、移住・定住施策の取組により、大分県内の過疎地域の自治体では人口減少率が最も低くなっている（平成27年・令和3年国勢調査より）。また、高校生までの医療費無料や中学生までの給食費無料、子育て応援誕生祝い金で最大200万円を支給するなど、全国トップレベルの本気の子育て支援を実施している。

【まとめ】

豊後高田市では、ふるさと納税のすべてを移住・定住の取り組みに活用しており、令和5年度は121世帯247人が移住し、10年間で1339世帯2903人が移住した。本市のみならず、全国的に問題となっている人口減少について、歯止めをかけるヒントになればと考える。

大分県佐伯市

【目的】

水産業について

【調査の概要】

佐伯市では、JFおおいた蒲江加工センターを視察後、道の駅かまえて研修を受けた。水産業の生産量は大分県内の水産業生産量の約

6.5割を占めており、特にブリ類やヒラメを中心とした養殖業は、大分県生産量の約8割を占める。ブリの全国生産量に関しては、鹿児島県に次いで2位である。道の駅かまえてでは、佐伯市で採れる食材を使用した料理をレストランで提供し、直売所では水産物の加工品も取り扱っている。



JF おおいた蒲江加工センターでの研修状況

【まとめ】

JFおおいた蒲江加工センターは、海外輸出を念頭に置いており、安定した加工品生産を実現し、養殖漁業者が長期的に安定して生産物を出荷できる体制を構築することを目的に作られた。本市においても、販路拡大に向けた取組のため、新しい加工品の作成を広くしていかなければならないと考える。

横芝光町：千葉県北東部に位置し、人口は2万2千人。白い砂浜が続く九十九里浜に面している自然豊かなまち。
越谷市：埼玉県南東部に位置し、人口は34万2千人。鉄道や幹線道路が市の南北・東西に走るアクセスに優れたまち。

総務文教委員会
 所管事項調査報告

1. 調査日 令和6年10月23日
 ～10月25日
2. 調査地及び調査内容

千葉県横芝光町

【目的】
 自動運転バスについて



自動運転バス

【調査の概要】

横芝光町では、高齢化の進行による自家用車以外での移動需要の増加や運輸業界のドライバー不足、いわゆる2024年問題に対応するため、国の補助金を活用して自

動運転対応バスを導入した。町内を移動する交通手段を自動運転バスにより確保するなど公共交通における課題を解決し、既存公共交通と連携した新しい交通ネットワークを構築することを目指している。

【まとめ】

現在、「自動運転レベル4」の実装を目指して実証運行中であった。カメラセンサー等を利用し人間の向きから進む方向を予測するなど安全面に考慮した工夫が凝らされていた。今後はマイナンバーカードや生体認証など自動運転バスと連携可能なデジタルツールを模索し、利用しやすいサービスの提供を考えていた。本市においても高齢化が進み、バスの減便といった交通手段に対する危機感を覚えることから、既存交通と連携した新たな交通網を検討する必要があると感じる。



バス内部

埼玉県越谷市

【目的】
 トイレトレーラーについて



越谷市役所での研修状況

【調査の概要】

越谷市では、大規模災害時に多くの人が集まる避難所で、トイレ不足が問題になることからトイレトレーラーを導入した。トイレトレーラーは、災害時の利用を想定して作られた移動設置型のトイレで、4基の洋式トイレと貯水タンクを備えており、水洗式で稼働する。

【まとめ】

大規模災害が発生した場合、水が流れないトイレはあっという間に汚れてしまい、到底使用できる状態でなくなる事例が多数ある。また、仮設トイレが到着するまでの日数を要するケースも見られ、災害時のトイレ確保は重要な案件であると改めて感じた。今年発生した令和6年能登半島地震でも派遣されており、全国での助け合いの輪も広がっている。さらに災害時だけでなく、平常時では市主催のマラソン大会や花火大会等でも利用され、活用の幅の広さを感じた。本市でも大規模災害に備えるため、トイレ不足の問題を解決する一助になると考える。



トイレトレーラー

垂水市魅力発見

垂水市芸術大使 ミヤギ タケオ氏

「ペタルアート」を、ご存知ですか？

ペタルアートとは…ペタルは英語で「花びら」を意味します。一片一片の花びらを本の頁に並べてはさみ、5年以上の時間をかけて自然と乾燥させ、花びらは変色を重ね本来の色合いへと変わってゆきます。このように時間をかけて出来上がった花びらを絵の具がわりにして作品に仕上げられております。ペタルアートはミヤギタケオ氏が、オリジナルで生み出したアートです。



海湯心象

今月はペタルアート・ミヤギタケオ氏取材させて頂きました。

Q アーティストを目指した経緯は？

A 会社員として働く日々の中で「何かを極めたい」と思っており、32歳で日本デザイナー学院東京校のグラフィックデザイン科に入学。

ある日「次回の授業は花を使ってイメージを表現する」課題をもらったミヤギ氏は庭に生えていた、つるやバラやアジサイ等を摘んだ花びらをちぎり作品にしたところ、同級生や講師の先生方から高評価だったから。

Q 大切にしていることは？

A 作品を通じてお客様に「感動をいただく」こと。みなさんも思いがあるならば、信念をもって、昨日より今日、今日より明日、ほんの少しでもよいので、一つ上の自分を目指してください。最後に、

「日々の努力が感動につながる」

と、力強く言われました。

〔池田みずす〕



お問い合わせ先

ペタルアートギャラリー
鹿児島県垂水市海湯 1288

市議会へ行こう

令和6年 第4回定例会会期日程 (案)

月	火	水	木	金
11/25	26	27	28	29 本会議
12/2	3	4	5	6
9	10 一般質問	11 一般質問	12 産業厚生委員会	13 総務文教委員会
16	17	18	19	20 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。
(本議会の様子はライブ・録画配信をしていますので、インターネット中継をご覧ください。)

※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。
※請願等の受付締切日は、議会運営委員会前の11月22日です。
※11月29日、12月20日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。
※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

今年も早いもので残り2か月を切り、年の瀬へ向かっていきます。例年のない猛暑もだんだんと和らぎ、秋の訪れを感じる季節となりました。秋といえは芸術の秋・食欲の秋など様々な活動が活発化する時期でもあります。本市でも11月3日(日)に文化祭・産業祭が開催され、市内外からの多くの方で賑わいをみせていました。文化祭では、日頃練習さ

れている技や芸をいかに発揮していた舞台披露に加え、ロビーでのお茶会や作品展示など来場者の笑顔が多く見られました。また、産業祭では、特産品の抽選に一喜一憂する姿や、旬の農畜産物や水産加工品の販売に来場者の列ができておりました。垂水市には美味しい食材が多くありますので、この機会に皆様も召し上がってはいかがでしょうか。

〔篠原 静則〕